Waste Manager インストールガイド

Waste Manager-産廃マニフェスト管理運用支援システム(以下「産廃システム」)は、産業廃棄物のマニフェスト伝票、委託契約書、その他の書類を作成管理するシステムです。

内容

Waste Manager インストールガイド	1
インストール	2
データベースの設定	7
データベースの作成	8
データベースの退避・復元	8
データベースのユーザー管理	12
WasteManagerSQLServer のファイアウォール設定	16
データベースへの接続	23

インストール

産廃システムのインストールについて説明します。

■ インストールメニュー

インストールCDをドライブへ挿入した際に表示されるメニューです。



• マニフェスト管理システム インストール

マニフェスト伝票、委託契約書などの文書を編集管理するシステムをインストールします。

• データベース管理システム インストール

マニフェスト管理システムのデータを保存するデータベースを管理するシステムをインストールします。

Microsoft SQL Server 2019 インストール
 Microsoft SQL Server 2014 インストール
 新しいパソコンにインストールする場合はデータベースの導入が必要になります。
 Microsoft SQL Server 2008 R2 で作成した「Waste Manager」の
 退避データを復元して使用する場合は「Microsoft SQL Server 2014」を、

そのほかの場合は「Microsoft SQL Server 2019」をインストールしてください。

■ Microsoft SQL Server インストール手順

産廃システムのデータベースを管理するパソコンにインストールして下さい

産廃システムで使用するデータベースエンジンは Microsoft SQL Server です。 データベース を導入していない場合は、インストールディスクに含まれる Microsoft SQL Server 2014 または Microsoft SQL Server 2019 を導入して下さい。



■ 7月戸 以前のバージョンの産廃システムで使用していたデータの退避データを復元して使用される場合は、 Microsoft SQL Server 2014 をインストールしてください。



データベース管理システム インストールから導入される SQL Server は、混合モード、リモートアクセス 許可でインストールします(インスタンス名「CBO_WM」)。SQL認証の管理者「sa」のパスワードは Cosanpai 2 です。

Microsoft SQL Server 2019 または Microsoft SQL Server 2014 をインストールする場合は 次の手順で作業を行って下さい。

インストールメニューで「Microsoft SQL Server 2019 インストール」または「Microsoft SQL Server 2014 インストール」を選択して下さい。

自動でインストールが開始されます(インスタンス名は「CBO_WM」になります)。 セットアップ画面、コマンド画面がすべて終了すると、インストール完了です。

■ データベース管理システム インストール手順

産廃システムのデータベースを管理するパソコンにインストールして下さい。

データベース管理システムをインストールする場合は次の手順で作業を行って下さい。

① インストールメニューで「データベース管理システム インストール」を選択して下さい。

インストール作業が開始されます。

 ② インストールするパソコンに「Microsoft .NET Framework 3.5」「Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable」が導入されていない場合は下記メッセージが表示されます。[インストール] ボタンを押してインストールを行って下さい。

	InstallShield Wizard
West 件が ルを	a Manager - データベース管理システム をインストールする前に、コンピュータに次の要 インストールされている必要があります。[OK]をクリックして、これらの要件のインストー 開始してください。
ステータス	要件
待機中	Microsoft NET Framework 3.5

[インストール]ボタンを押した後は、「Microsoft .NET Framework 3.5」「Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable」を画面の指示に従ってインストールを進めて下さい。

③ データベース管理システムのインストールが開始されます。[次へ]ボタンを押して下さい。



④ ユーザー情報を設定するダイアログが表示されます。[次へ]ボタンを押して下さい。

🕲 Waste Manager - データベース管理システム バージョン2.10 - Instal 🕨
情報を入力してたたい。
ユーザ名(U):
所腐(0):
このアプリケーションを次のユーザに対してインストールします:
 このコンピュータを使用するすべてのユーザ(A)
InstallShield
< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > キャンセル

⑤ インストール先を設定するダイアログが表示されます。[次へ]ボタンを押して下さい。

😼 Waste	Manager - データベース管理システム バージョン2.10 - Instal ×
インストール このフォル ンストーノ	先のフォルダ ダにインストールする場合は、「六へ」をクリックしてください。 別のフォルダにイ する場合は、「変更」をクリックします。
	Waste Manager - データベース管理システム のインストール先: C.¥CBO¥sanpa¥ 変更(<u>C</u>)
InstallShield –	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

インストール先を変更する場合は[変更]ボタンを押して変更して下さい。

⑥ インストール確認メッセージが表示されます。[インストール]ボタンを押して下さい。



インストール作業が開始されます。終了すると完了メッセージが表示されます。

⑦ [完了]ボタンを押して下さい。



インストール作業の完了です。

■ マニフェスト管理システム インストール手順

基本的なインストール手順は「データベース管理システム インストール (P.4)」と殆ど同じなのでそちらを参考にインストールを行って下さい。

データベースの設定

■ データベース管理システム

産廃システムのデータベースを編集するプログラムです。



インストールCDから「データベース管理システム」をインストールすると Windows の「スタート]・「プ ログラム]-[Waste Manager]-[データベース管理システム]で起動する事が出来ます。

• ログイン

「データベース管理システム」の各機能は、「データベース接続」でデータベースに接続しない と使用出来ません。[データベース接続]ボタンを押すと「SQL Server の接続」ダイアログが表 示されるので、[SQL Server]にローカルの SQL Server と認証情報を設定して[OK]ボタンを押 してログインして下さい。



「データベース管理システム」は起動したパソコン(ローカル)のデータベースのみ編集する事が出来ま す。また、データベースに接続する場合は必ず SQL Server の管理者権限でログインして下さい。

データベースの作成

① [データベースの作成]ボタンを押して下さい。



データベースが作成されます。



データベースの作成では、SQL Server に「CBO_SANPAI」というデータベースを作成します。また、 既に産廃システムのデータベースが存在する場合や SQL Server のバージョンが古い場合は作成で きません。

データベースの退避・復元

■ データベースの退避

データベースをファイルに退避する機能です。「データベース管理システム」から[データベースの 退避]ボタンを押すと「退避ファイルの保存」ダイアログが表示されるので出力先を選択して[保存] ボタンを押して下さい。

① [データベースの退避]ボタンを押して下さい。

データの管理	DB操作	121F
	過去データの管理(<u>M</u>)	お客様情報確認(1)
データベースの退避(<u>B</u>)	データベースの削除(<u>D</u>)	パスワード請求(<u>P</u>)
データベースの復元(<u>R</u>)	産廃マスターからデータコンバート(火)	製品シリアル解除(K)
	データベース接続(<u>L</u>)…	ビジネス・ワン ホームページ(日)
	データベースのユーザー管理(U)_	更新情報(工)
		リモートメンテ(の)
		バージョン情報(<u>S</u>)
		(\$7/E)

データベース	管理システム	\times
?	データベースの退避を行いますか? 接続中のSQL Server:2008R2 復元可能なSQL Server:2008R2/2012/2014	
	OK キャンセル	

上図の確認メッセージが表示されます。そのまま「OK」を押下してください。

② 退避ファイルの保存先を選択してくださ

蜿 退避ファイルの保存				\times
$\leftarrow \rightarrow \ \cdot \ \uparrow$ — « CBO	> sanpai >	✓ ບ້ sanpaiの	検索	Q
整理 ▼ 新しいフォルダー				?
 PC ダウンロード デスクトップ ドキュメント ビクチャ ビデオ ミュージック Windows (C) 	▲ 名前 Data DBDATA FieldMst LangBase Idata PatBase StDat Symbol	^	更新日時 2016/09/29 13:18 2016/09/14 19:43 2016/08/31 15:25 2016/09/29 13:18 2016/09/29 13:18 2016/09/29 13:18 2016/09/29 13:18	^
DATADRIVE1 (D:)	v <			>
ファイル名(N): WasteMa ファイルの種類(T): 退避ファイル	anager_20161003.mbk /(*.mbk)			~
▲ フォルダーの非表示		保存	字(S) キャンセノ	

「保存」ボタンを押下で退避ファイルが作成されます。

処理中…	
	処理中です。しばらくお待ちください
	2.1110000000000000000000000000000000000

③ 退避完了

データベースの退避が正常に終了しました。
ОК

上図が表示されて、データベースの退避は完了です。

■ データベースの復元

「データベースの退避」で退避したファイルを、復元する機能です。「データベース管理システム」 から[データベースの復元]ボタンを押すと「退避ファイルを開く」ダイアログが表示されるので復元 するファイルを選択して[開く]ボタンを押して下さい。

① [データベースの復元]ボタンを押して下さい。

wije	データベース管理システム	×
データの管理	DB操作	1211
データベースの作成(<u>C</u>)	過去データの管理(<u>M</u>)	お客様情報確認(1)
データベースの退避(B)	データベースの肖明余(<u>D</u>)	パスワード諸求(<u>P</u>)
データベースの復元(<u>R</u>)	産廃マスターからデータコンバート(⊻)	製品シリアル解除(K)
	データベース接続(<u>し</u>)…	ビジネス・ワン ホームページ(出)
	データベースのユーザー管理(U)	更新情報(<u>T</u>)
		リモートメンテ(の)
		バージョン情報(S)
		終了(<u>E</u>)

下図確認メッセージが表示されます。「OK」ボタン押下してください。

データベース管理システム	×
ブータベースの復元を	行いますか?
ОК	キャンセル

② 復元する退避ファイルを選択してください。

🚸 退避ファイルを開く		×
← → · ↑ _ « CBO → sanpai	> v ひ sanpaiの検索	Q
整理 ▼ 新しいフォルダー	∃==	- 🔳 😮
 ■ デスクトップ ※キュメント ■ ピクチャ ■ ピデオ ♪ ミュージック 	▲ Symbol Sys TEMP Ver2.1.1.0 Ver2112	更新日時 2016/09/29 13 2016/09/30 15 2016/08/31 17 2015/12/25 18 2016/09/14 19
Windows (C:) DATADRIVE1 (D:) C1388 cap CBO	 VF2.1.1.2 新しいフォルダー default.mbk WasteManager_20161003.mbk サンブルデータ.mbk 導入時データ.mbk 	2016/04/20 9: 2016/07/15 17 2016/10/03 9: 2016/09/14 19 2016/09/14 19
sanpai ファイル名(N): Wast	▼ <	> ~ キャンセル

「開く」ボタン押下で復元処理が実行されます。



③ 復元完了



上図が表示されて、データベースの復元は完了です。

データベースのユーザー管理

データベースに接続するには Windows 認証か、SQL 認証によりログインする必要があります。こ こではそのユーザーを新たに登録、削除などを行う事が出来ます。

但し、通常は「Microsoft SQL Server」に付属している専用のツールをお使い下さい。またはこの 「データベースのユーザー管理」機能を使用して下さい。



インストール CD から SQL Server をインストールすると、データベースの管理者ログイン「sa」はパスワード「cbosanpai_2」と設定されます。

■ データベースのユーザー登録

産廃システムのデータベースを使用できるユーザーの登録を行う場合は次の手順で作業して下さ い。

Γ

データベースの設定

① データベース管理システム(P.7)」ダイアログを表示してデータベースへ接続して下さい。

② [データベースのユーザー管理]ボタンを押して下さい。

「データベースのユーザーリスト編集」ダイアログが表示されます。

データベースのユーザーリスト編集		×
ユーザーリスト(L):		
データベースユーザー名	ログイン名	
dbo	sa	
<		>
這加(A) 肖耶余(D)	SQL Serv	erのバージョン(V)
	閉じる	ヘルプ(H)
ューザーリスト	•••	産廃シス
_ / //		注.九♥ ≠ 表示され
<i>4</i> 1		
追加	•••	産廃シス
		ます。
削除	•••	[ユーザ-
	• • •	
SQL Server 00/1-	ーンヨン・・・	現仕使用
		データベース管理システム
		SQL Serve 冒語は「日

③ [追加]ボタンを押して下さい。

「SQL Server のログインリスト編集」ダイアログが表示されます。

SQL Serverのログインリスト編集	×
ログインリスト(L):	
1#MS_PolicyEventProcessingLogin## #MS_PolicyEventProcessingLogin## #MS_SonCertificate## #MS_SonCertificate## ##MS_SQLepticationSigningCertificate## ##MS_SQLepticationSigningCertificate## #ULTINVers NT AUTHORITYKSYSTEM NT SERVICEWINSSQLESBO_VM	^
sa	~
追加(A) 削除(D) パスワードの変更(P)
選択 閉じる ヘルブ	(H)

ログインリスト

••• 「SQL Server」に登録されているログインリストが表示されま す。

追加

・・・ ログインを追加します。

• [SQL Server のログイン」ダイアログ
	SQL Serverのログイン ×
	○ Windows 記祖王(W) :名前(A):
	SQL Server 認識(S)
	名前(N): testuser
	パスワード(P):
	パスワードの確認入力(R): ••••••
	OK キャンセル

Windows認証か、SQL認証のどちらかを選択してログインの 追加を行って下さい。Windows認証の場合はWindowsの 方に予めログインユーザーを追加しておく必要があります。

削除

- ・・・ [ログインリスト]で選択したログインを削除します。
- パスワードの変更
- ・・・ ログインリストからログインユーザーを選択後、該当ユーザーのパスワードを変更します。

パスワードの変更	×
パスワード(P):	
新しいパスワード(N): (確認用):	
	OK キャンセル

④ [ログインリスト]から産廃システムのデータベースを使用できるユーザーを選択して[選択]ボ タンを押して下さい。

「データベースのユーザーリスト編集」ダイアログへ戻りユーザーが追加されます。

ータベースユーザー名	ログイン名
0	sa
stuser	testuser
	>

「SQL Server」の管理者ユーザーである「sa」は リストに追加できません。但し、産廃システムでは 「sa」でログインしても特に問題なく動作します。

WasteManagerSQLServer のファイアウォール設定

複数の PC で運用される場合、データベースエンジン SQLSERVER を他の PC から参照 できるようにする為、実際に通信を行う「SQLSERVER 実行ファイル」と「SQLSERVER 公開ファイル」を ファイアウォールの例外に登録する必要があります。 上記 2 ファイルの場所を確認し、ファイアウォールの設定画面で登録を行います。 ※単独の PC 上で使用する場合、ファイアウォールの設定を行う必要はありません

■ ファイアウォールへの例外設定

プログラムとファイルの検索/Windows を検索の窓に「ファイアウォール」を入力、「セキ ュリティが強化された Windows ファイアウォール」を開いてください。



受信の規則に新しい規則を追加します。



■ SQLSERVER 実行ファイルの例外設定

ポートを選択して「次へ」

● 新規の受信の規則ウィザード		×
規則の種類 作成するファイアウォールの規則の	種類を選択してください。	
入方ップ: 利息りの種類 クロトコルおよびポート 操作 クロファイル 名前	どの種類の規則を作成しますか? ・ コロプラム(P) プロプラムの存在でを通知する規則です。 ・ ご ホー(O) TO またく10 P ま - の接続を制御する規則です。 ・ の前定案(E) Mindows エクスペリエンスのために接続を制御する規則です。 ・ の方久仏() カスタムの規則です。 < (<u>戻る(B)</u>) 次へ(<u>M</u>) キャンセル	

ポートの種類として「TCP」を、特定のローカルポート「1433」を入力、「次へ」

💮 新規の受信の規則ウィザード		
プロトコルおよびボート この規則を適用するプロトコルとポ	ートを指定してください。	
 ステック: 3月以りが登録 プロトコルおよびボート 抹作 プロファイル 名前 	TOP L HOD のビキドにこの規則は適用しますか? TOP(T) UDP(U) すべてのローカル ボートと特定のローカル ボートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択し てただい。 ・ サイモのローカル ボートと特定のローカル ボートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択し ・ サイモのローカル ボートと特定のローカル ボートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択し てたざい。 ・ サイモのローカル ボートと特定のローカル ボートのどちらを対象にこの規則を通用するかを選択し てたざい。 ・ サイモのローカル ボートのどちらを対象にこの規則を通用するかを選択し てたざい。 ・ サイモのローカル ボートのどちらを対象にこの規則を通用するかを選択し ・ サイモートと特定のローカル ボートのとちらを対象にこの規則を通用するかを選択し	

■ SQLSERVER 実行ファイルの例外設定

「接続を許可する」を選択して「次へ」

💼 新規の受信の規則ウィザード		×
操作 規則で指定された条件を接続が満	読す場合に、実行される操作を指定します。	
 規則の増加といい案件を扱われる ステック: 規則の種類 プロトコルおよびポート 操作 プロファイル 名前 	%と93時間に、美口で4161年16日度にします。 接続が指定の条件に一致した場合に、どの1操作を実行しますか? ● 接続を許可する(A) Psec を使用して保護されていない1接続の両方を含みます。 ● セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C) Psec を使用して翌証された接続のみを含みます。接続は、Psec プロパティ内の設定と接続 セキュリティ構則リントド内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。 カスタマイズ(Z)- ● 接続をプロックする(K)	
	< 戻る(B) (次へ(M) > キャンセル	

ご利用のネットワーク利用に合わせてチェックを外し「次へ」



■ SQLSERVER 実行ファイルの例外設定

名前を付けて「完了」(SQLServerTCP 受信 等)

💼 新規の受信の規則ウィザード		
名前 この規則の名前と説明を指定してください。		
	,前(N): 別 (オブション)(D): < 戻る(B) 完了(F) キャンセ	40

同様に SQLSERVER 公開ファイルについても許可を与えてください。

ポートを選択して「次へ」

🔬 新規の受信の規則ウィザード	
規則の種類 作成するファイアウォールの規則の	種類を選択してください。
ステッチ: 規則の種類 フロトコルおよびポート 操作 フロファイル 名前	どの種類の規則を作成しますか? ・ フログラムの存 プログラムの存成できる間ゆうるか。即です。 ・ ご 一 ビ で またく U DD ま よったは (大を制御する規則です) ・ の 新方字気 () べ Mindows エウスペリエンスのために接続を制御する規則です。 ・ う カタム () カスタムの規則です。 (<u>戻る(B)</u>) 次へ(<u>N</u>)) キャンセル

■ SQLSERVER 実行ファイルの例外設定

ポートの種類として「UDP」を、特定のローカルポート「1434」を入力、「次へ」

💼 新規の受信の規則ウィザード		×
プロトコルおよびポート この規則を適用するプロトコルとポ・	ートを指定してください。	
 ステッチ: 規則の種類 フロトコルおよびボート 操作 フロファイル 名前 	TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか? ● UDP(U) マイてのローカル ボートと特定のローカル ボートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択してください。 ● 特定のローカル ボート(A) ● 特定のローカル ボート(A) 「何 80、443、5000-5010	

「接続を許可する」を選択して「次へ」

☆ 新規の受信の規則ウィザード		×
操作 規則で指定された条件を接続が満	読す場合に、実行される操作を指定します。	
 ステック: 規則の種類 フロトコルおよびボート 操作 フロファイル 名前 	 接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか? 第続を許可する(A) Prese を使用して保護された格 &と保護されていない接続の両方を含みます。 「クキュリティで保護された格 &と保護されていない接続の両方を含みます。 「クキュリティで保護された格 &と保護されていない接続の両方を含みます。 オュリティアは保護されたないないな場合のみ 接着を許可する(C) Prese を使用していた場合のみ 接着を許可する(C) Prese を使用していた場合のみ 接着を許可する(C) Prese を使用していた場合のみ 接着を許可する(C) かたの見いとしていたいない ない ない	

■ SQLSERVER 実行ファイルの例外設定

ご利用のネットワーク利用に合わせてチェックを外し「次へ」

● 新規の受信の規則ウィザード		×
プロファイル この規則が適用されるプロファイルを	を指定してください。	
 ステップ: 規則の種類 プロトコルおよびボート 操作 プロファイル 名前 	この規則はいつ適用しますか?	

名前を付けて「完了」(SQLServerUDP 受信 等)

			×
名前 この規則の名前と説明を指定してくた	さい。		
ステゥナ: ・ 規則の種類 ・ プロトコルおよびポート ・ 操作 ・ プロファイル ・ 名前	名前(N): 」 説明 (オブション)(D):		
		< 戻る(B) 完了(F)	キャンセル

データベースへの接続

産廃システムを使用する場合には、データベースに接続する必要があります。ここではマニフェス ト管理システムでのデータベースに接続する方法を説明します。



産廃システムからデータベースに接続する為には、接続するデータベースに産廃システム用のデータ ベースが構築されている必要があります。産廃システム用のデータベースを構築する方法は「データベ 一スの設定」を参照して下さい。

① マニフェストシステムを起動して下さい。

② 文書編集の場合は[文書]-[データベースへ接続]メニュー、様式編集の場合は[フォーム]-[データベースへ接続]メニューを選択して下さい。

「SQL Server への接続」ダイアログが表示されます。



SQL Server

・・・ 接続するデータベースを選択して下さい。[...]ボタンを押すと 「サーバーの選択」ダイアログが表示されます。

サーバーの選択	ર	×
9	SQL Serverを実行している以下のサーバー がネットワーク上で現在アクティブです。	
アクティブ	[*] サーバー(S):	
BIONEDE BIONEDE	Con Exercise Browson, 2012 Browson, 2012	
	OK キャンセ	JÞ

「アクティブサーバー」で接続可能なデータベースを選択して [OK]ボタンを押すと[SQL Server]欄に選択したデータベー スが設定されます。

Windows 認証 ··· Windows 認証を行う場合に選択して下さい。

SQL Server 認証 ···· SQL 認証を行う場合に選択して[ログイン]と[パスワード]を設 定して下さい。標準で以下のユーザーが登録されています。 他のユーザーを追加する場合は「データベースのユーザー 管理」を参照してください。 Ver2.09 以前ではログイン名:sa パスワード:cbosanpai Ver2.10 以降ではログイン名:sa パスワード:cbosanpai_2

③ 条件を設定して[OK]ボタンを押して下さい。

選択した SQL Server にデータベースへ接続します。